

昨年11月16日、たくさん子どもたちでにぎわった
崇善小学校(浅間町4-3)。崇善地区の青少年指導員に
よる「子ども大会」が開かれていました。

子どもたちがのびのびと楽しむ姿に、イベントに協力
している関係団体や中学生ボランティアもにっこり。子
どもたちの成長を優しく見守る、地域の強いつながりが
生まれていました。

広報 2025 1 月
No.1263 第3金曜日号

ひらつか



①青少年指導員が持つ台の上で、付箋に感謝の気持ちをつづる子どもたち ②書いた付箋を、台紙に描かれた「ありがとうの木」に貼る ③江陽中学校の科学部によるシャボン玉のコーナーは子どもたちに大人気 ④地元のよさこいチームによる演舞が会場を盛り上げた ⑤中学生ボランティアが、ポップコーンを子どもたちに手渡し

地域でつながり育む

目次

1～3面…**特集** 地域ぐるみで見守る成長…地域団体と連携し、
子どもの健全育成に取り組む青少年指導員。社会環境が
変化する中で、各地区が工夫して活動を続けています。

4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」

広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけますアプリ「マ
チイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧い
ただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 〆0463-23-9467



●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)

地域ぐるみで見守る成長



「笑顔」と「ありがとう」が自然と出る人になってほしい——。子どもたちと同じ目線で、活動を楽しむ心を大切にする青少年指導員。社会環境の変化に対応しながら、地域の各団体と連携し、青少年の健全育成に取り組んでいます。

☎ 青少年課 ☎ 71-5950

平塚市の青少年指導員

市内28の小中学校区で、各地区の連合自治会長から推薦された333人を定員として活動しています。その人数は県内3位の多さです。活動内容は各地区に一任され、地域の中でのレクリエーション活動、街頭パトロール、社会環境実態調査などがあります。

しかし、新型コロナウイルスの影響などで、令和2～5年は中止する地区もありました。その期間にメンバーが交代時期を迎えるなど、各地区で青指を取り巻く状況は変わっていきましました。本年度は5年ぶりに、全ての地区で子ども大会を開くことができませんでした。ただコロナ禍を経て、各地区で規模が縮小しているのを感じます」と話すのは、市青少年指導員連絡協議会の会長、



5年ぶりの28地区開催

相馬喜昭さん(上写真)。「子ども大会は、子どもたちの笑顔を引き出し、地域とのつながりをつくる場として、長い間、大切にしてきたイベントなんです」と続けます。

無理なく続ける

各地区で起きている活動の縮小化。その理由は活動を制限される期間があったからだではありません。相馬さんは「青指や関係団体の高齢化に伴い、協力いただける人数が減り、内容も縮小せざるを得ない……という現状があります」と語ります。「各地区が、地区の現状に合った方法を試行錯誤して、活動を続けてい

地域全体を巻き込んで

各地区の子ども大会は、学校や自治会など、さまざまな関係団体の協力があったからこそです。また崇善地区では、中学生が毎年ボランティアとして参加しています。「数年前まで遊ぶ側だった中学生が、ボランティアとして活躍する姿を見て、感動の涙を流す方もいるんです」とは相馬さん。「地域で子どもたちの成長を見守っているのだと実感します。地域ぐるみで楽しめる場が、互いに良い影響を与えていると思ううれしくなりますね」と地域全体を巻き込む意義を語ります。

笑顔を引き出す仲間

青指としての活動は23年目になる相馬さん。始めた頃は

ます」。

相馬さんが地区会長を務める崇善地区も同様です。昨年11月の子ども大会(1面)では、運営側の負担を減らす工夫が見られました。その一つが、鉄製の重いやぐらを屋外に組み立てるのをやめたこと。「組み立てに力を借りていた地域団体から年齢的に厳しいから……と、要望がありました。子どもたちのステージ発表を、準備から無理なく続けるために、屋内スペースを使う方法に切り替えました」。また子ども大会を中止せざるを得なかった地区(下囲み)をずっと気に掛け、相談も受けていた相馬さん。工夫して「子ども大会を再開する」という一歩を踏み出したことを心から喜んでいました。

活動を正直面倒に感じていたとか。活動の捉え方が変わったのは、楽しさを知ってからでした。「できる範囲で続けているうちに、職場と家の往復では得られない、地域とのつながりができました」とこり。自身も現役で働きながら活動を続けてきたからこそ、できる時に、できることを」と言い切ります。熱量の差で誰かが苦しくならないように、日々呼び掛けているそうです。「もし『活動に関わりた』と思ったら、その気持ちを大切にしてほしいんです。子どもたちの笑顔を引き出して、成長を見守る仲間が、各地区で途切れることがないように、続けていきたいですね」

地域の変化を受け入れて工夫

昨年、5年ぶりに子ども大会を再開した豊田地区。27年間、青指として活躍する豊田地区の理事、伊東多恵子さん(写真)に話を聞きました。



コロナ禍前の豊田地区子ども大会では、十数年間、ミニ運動会を開いていました。ただ、開催を見送っている数年で、地域団体の協力体制にも変化があり、今まで通りの子ども大会を開くのが、現実的ではなくなっていました。青指のメンバーも2年の任期で入れ替わり、子ども大会の経験者はいなくなりました。そのため、「準備が大変そう」というイメージがあったからか、青指のメンバーも再開には後ろ向きでした。

研修会での出会いが背中を押した

状況は変わりませんでしたが、令和6年5月に、5年ぶりの子ども大会を開きました。内容は、講師を招いてのバルーンアート作りです。まず再開することを優先して考えて、人手がない中でもできる形を選びました。この形を思い付いたのは、令和5年に参加した青指の研修会(3面下

次につながる第一歩

段)。研修会で自分がバルーンアートを習ったような形で、子ども大会もできないだろうかと思い、相馬会長や研修会でつながった他地区の方に相談に乗ってもらいました。皆さんからの情報は本当に助けになりました。当日、大原地区の方がサポートに来てくれたのも、ありがたかったです。

青少年指導員としての姿を見せる

あくまで今回は再開への第一歩です。子どもたちから「また来年もやりたい」という言葉が出ました。青指主催のイベントとして、来年は講師に頼りっぱなしにならないように準備をしています。今回の子ども大会後、金田地区の青指にバルーンアートの経験者がいると知り、少しでも作り方を覚えられるように、力を借りたいと相談しています。また、うれしいことに青指のメンバーからも、前向きな声が増えたんです。子どもたちが笑顔で楽しむ姿を見られた効果はやはり大きいと思います。子どもともっと青指が関われる子ども大会になるように、次を考えていきたいです。





- ①横内中学校を笑顔で出発!
- ②チェックポイントでスタンプを押す
- ③別のグループに「ハッピーハロウィーン!」とあいさつ。道中は安全確保のための人員が配置されていた
- ④横内中学校美術部員や横内小学校のPTAらが作成したオリジナルのスタンプ
- ⑤仮装したダンス講師に当日、振り付けを習って、音楽に合わせてみんなでダンス。審査もあって大盛り上がり



思いを引き継ぎ、メンバー一新

昨年10月19日、仮装姿の人でにぎわった横内中学校のグラウンド。横内地区の子ども大会「よこハロウィーン」が開かれました。「よこハロウィーン」のスタートです! 先頭のグループから順番に、気を付けていってらっしゃい。司会を務める高校生ボランティアの合図で、メインイベントが始まりました。「よこハロウィーン」は、参加者が公民館や若草保育園、平塚湘風高校を巡るスタンプ

交代後初のイベント

子ども大会を毎年開き続けている横内地区ですが、昨年4月から主催側の体制が変わりました。20年ぶりに地区会長が代わり、メンバーも7割



が新しくなりました。横内地区会長の小長井宏純さん(右写真)は、「青少年指導員としても会長としても初めての子ども大会。内容も初の試みだったので、人が集まるかどうか不安でした」と振り返り

親子で地域とつながる

「今回の子ども大会では、子どもだけでなく保護者も一緒に参加して、地域とつながる機会にしてほしいと考えていました」とテーマを話す小長井さん。顔を知らないとい何かあったときに助けを求めにくいです。子どもとの時間を楽しみたい、地域の人と保護者や、保護者同士が、お互いの顔を知る機会をつくりたかったんです」と加えます。今回、横内こともサポート

ます。「200人程度を想定していたのですが、300人を超える参加があった驚きました。子どもたちが放課後よく過ごしている公民館に協力をお願いしたのが効果的だったのかもしれないですね」とほほ笑みます。



フォローし合える関係

横内地区青指のメンバーのほとんどは、小・中学生の子どもがいて、現役で仕事もしている世代。今回の子ども大会では、よこハロウィーンの時空間に限り人員を補強するなど、協力してくれる方の負担を減らしました。「青指や地域団体など、多くの方に関わってもらったための工夫です」と小長井さん。青指のメンバーは共働きの方も多いため、大変さを互いに理解して、フォローしやすい関係にあります。今後でもできるところから、少しずつ簡素化していきたいです」と展望を語ります。

学校とも手を取り合う

「まず今回の子ども大会は、学校などの理解と協力がなければ実現しませんでした」と会場だった中学校や、当日開かれていた学校祭への訪問を承諾してくれた高校に感謝を語ります。今後は活動していく中で、学校とのつながりも強めていきたいと考える小長井さん。「中学生や高校生は大人よりも近い感覚で、子どもたちと地域をつないでくれる存在なんです。今回も卒業生に会えて子どもたちが喜んでいました」と理由を語ります。

「子どもと保護者が、もっと地域活動に参加しやすくなるように、そして、子どもが成長しながら地域と関わり続けられるように……。これから青指として活動する中で、地域に働き掛けていきたいです」と未来を見据えます。

年2回の研修会



昨年10月12日に開かれた青少年指導員の研修会。今回の企画は、港地区の飯島幸子さん(写真①)と、八幡地区の相原真貴子さん(写真②左端)が担当しました。

飯島さんは、「ニュースポーツ体験を今後の活動に生かすとともに、青指同士の親睦を深められるように、研修内容を考えました」と話します。多くが初対面の人の集まりで、限られた時間の中で仲良くなれる内容にしたい、と考えた2人。囲碁のまちや特産品を絡めて、平塚らしさも加えたいと選んだのが、囲碁ボールと、平塚産米「はるみ」を使うアルミ缶での野外炊飯でした。

囲碁ボールでは白熱したグループ戦に、参加者たちが自然と声を掛け合います。打ち解けた後、同じグループで取り組んだ野外炊飯では、初対面とは思えないほど和気あいあいと作業し、炊きたてご飯をほおぼる姿がありました(写真③)。飯島さんは「研修会で自分たちが全力で楽しめたもの

地区を超えて助け合う

を、各地区で子どもたちに還元していってほしいですね」とほほ笑みます。

情報交換が解決の鍵

休憩時間には、互いの地区の情報を交換する姿がありました。研修会を通して、顔見知りになったり話したり、お互いの子ども大会などを見学に行ったり……。子ども大会を中止していた地区が、他地区を参考に、今までとは全く違う形で再開した例もあります。活動歴も職業も世代も幅広い人が集まる青指。さまざまな視点から得られる情報に、2人も助けられているそう。「研修会は各地区がつながれる大切な機会だと思っています。地区内でままたまならないと思っていたことも、他地区との情報交換で解決策が見つかることも多いんです」と相原さん。「今後も地区を越えた交流の場を大切にして、自分の地区の現状に合った運用などを取り入れていきたいです」と力を込めました。

市民・大学交流 小学生サッカー教室



神奈川県女子サッカー部から指導が受けられます(写真)。
3月8日(土)午前9時50分～正午。小雨決行。馬入ふれあい公園サッカー場(中堂246-1)。市内在住・在学の小学生80人(先着順)。サッカーボール・飲み物。運動ができる服装でお越しください。

募集 市ウェブや各公民館・本館7階のスポーツ課 ☎ 31-3060 ☎ 34-5522 ✉ sports@ にある申込書を、郵送・ファクス・メールまたは直接、1月17日(金)から、同課へ。

市地域防災計画(改訂素案)
災害への事前対策・応急対策などの指針を示す計画です。県地域防災計画の修正や令和6年能登半島地震の発生などを踏まえ、計画を改訂します。

募集 意見・必要事項(企業・

素案の内容は、1月17日(金)～2月17日(月)に、市ウェブや各公民館・図書館、駅前市民窓口センターなどで閲覧できます。

パブリックコメントにご意見を寄せてください

募集

応募方法は

- 募集のある記事は事前に応募が必要です
- **必要事項**は郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号です
- 受付開始日の記載がない場合、**1月20日(月)午前8時30分**から、受け付けます
- メールの場合、以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください
- **電子申請システム**(e-kanagawa)で応募できます。右の2次元コードからもアクセスできます
- 市役所への郵便物は、〒254-8686 平塚市役所〇〇課で届きます



応募方法

『もったいないばあさん』の作者、真珠まりこさんが読み聞かせなどをします。
2月22日(土)午後2時～3時。中央図書館(浅間町12-41)。市内在住の未就学児と

講座 もったいないばあさんのおはなし会

2月6日(木)午前10時30分～11時30分。西図書館(山下3-29-1)。小学生以下の方35人(先着順・未就学児は保護者同伴)。
募集 電話または直接、1月18日(土)午前9時から、西図書館 ☎ 35-3555 へ。

人形劇団の「アフターマーチ」が上演します。
2月6日(木)午前10時30分～11時30分。西図書館(山下3-29-1)。小学生以下の方35人(先着順・未就学児は保護者同伴)。

放課後児童クラブ(学童保育)の入所申請
4月に入所を希望する方の申請(2次)を受け付けます。詳しくは、市ウェブをご覧ください。ただ、各放課後児童クラブ

採用は4月1日(火)以降。市教育委員会のパートタイム会計年度任用職員として採用されます。条件など、詳しくは市ウェブをご覧ください。サン・サンスタッフ学校司書30人(選考)。学校図書館資料の整理や、授業への協力などをします。司書・司書補・司書教諭の資格がある方。

市内の小・中学校で司書として働きますか

または青少年課 ☎ 71-5950 へお問い合わせください。
募集 市ウェブや各放課後児童クラブ・本館1階の青少年課にある申込書を、直接、1月27日(月)～2月7日(金)に、希望する放課後児童クラブへ。

3月1日(土)午後2時～4時。保健センター(東豊田48-13)。市内在住の方40人(先着順)。
募集 **必要事項**・年齢・講座名

市民公開講座 災害時の医療活動体験と講話

2月17日(月)午前9時～正午。リサイクルプラザ(四之宮7-3-5)。市内在住の方10人(抽選)。布・5本指の靴下・布ばさみ・ものさし・ピンセット。
募集 電話で、リサイクルプラザ ☎ 51-5301 へ。

布で作り作り教室
2月17日(月)午前9時～正午。リサイクルプラザ(四之宮7-3-5)。市内在住の方10人(抽選)。布・5本指の靴下・布ばさみ・ものさし・ピンセット。

保護者35組(抽選・1組3人まで)。
募集 全員の**必要事項** 講座名・子どもの年齢・人数を、メールで、1月17日(金)～31日(金)に、中央図書館 ☎ 31-0428 ✉ library@ へ。

事業者・創業者向けセミナー

平塚・伊勢原創業スクール

創業に必要なノウハウを学びます。
2月1日、3月8日・22日・29日の土曜日、全4回、午後1時～5時。伊勢原市中央公民館(伊勢原市東大竹1-21-1)。市内で創業を検討または創業して5年未満の方20人(先着順)。
募集 電話で、または市ウェブや本館5階の産業振興課・中栄信用金庫 ☎ 81-1852 ☎ 82-2182 ✉ chuei-seminar@chuei-shinkin.co.jp の各支店にある応募用紙を、ファクス・メールで、同庫へ。

Web求人サポートセミナー

最新の採用市場の動向や、魅力的な求人原稿の作成方法などを解説します。オンラインでも開きます。詳しくは、市ウェブ(2次元コード)をご覧ください。
2月13日(木)午前10時・午後2時(各回2時間)。
平塚商工会議所(松風町2-10)。市内事業者、各回30人(先着順・1社2人まで・オンラインは人数制限なし)。パソコンまたはスマートフォン、お持ちの場合は求人票。
募集 リクルートのウェブで、応募してください。問い合わせは産業振興課 ☎ 21-9758 へ。

販売促進セミナー プレスリリースの作り方

2月21日(金)午後2時～4時。平塚商工会議所(松風町2-10)。市内事業者または市内で創業予定の方50人(先着順)。
募集 本館5階の産業振興課・平塚商工会議所 ☎ 22-2511 ☎ 24-0079 にある応募用紙を、ファクスまたは直接、同会議所へ。同会議所ウェブでも応募できます。

日々の資金繰りや価格設定セミナー

2月28日(金)午後2時～4時。平塚商工会議所。市内事業者50人(先着順)。
募集 市ウェブや本館5階の産業振興課・〒254-0812 松風町2-10 平塚商工会議所 ☎ 22-2511 ☎ 24-0079 にある応募用紙を、郵送・ファクスまたは直接、同会議所へ。同会議所ウェブでも応募できます。

3月2日(日)午後0時50分～5時30分。勤労会館(追分1-24)。市内在住・在勤・在学または市内の囲碁教室に通っている方100人(抽選)。1

囲碁の級位認定大会

2月24日(休)午前9時30分～10時30分。ひらつかサン・ライフアリーナ(中堂246-1)。年少・小学校3年生15人(先着順)。室内用運動靴。
募集 馬入ふれあい公園ウェブで、1月20日(月)正午から応募してください。問い合わせは馬入サッカー場 ☎ 24-1137 へ。

リズムダンス教室
2月24日(休)午前9時30分～10時30分。ひらつかサン・ライフアリーナ(中堂246-1)。年少・小学校3年生15人(先着順)。室内用運動靴。

を、ファクス・メールで、市医師会 ☎ 52-0355 ☎ 52-0356 ✉ mei57254@apri-cotocone.jp へ。

8月下旬～10月下旬に、調査票の配布や回収をします。条件など、詳しくは市ウェブをご覧ください。
20歳以上の方1200人(選考)。
募集 各公民館・図書館、駅前市民窓口センターなどにある応募用紙を、郵送・ファクスまたは直接、3月31日(月)までに、本館4階の行政総務

国勢調査の調査員

000円、高校生以下500円。
募集 **必要事項**・年齢・級位(市内在勤・在学の方は勤務先・在学先、市内の囲碁教室に通う方は教室名)を、往復はがきで、1月18日(土)～2月12日(水)に、〒254-0045 見附町31-10 まちづくり財団文化事業課 ☎ 32-2237 へ。同財団ウェブからも応募できます。

神奈川県バスを乗り継いで、平塚八景を巡りませんか。
1月16日(木)～2月28日(金)に、訪れた場所の数に応じて、記念品をプレゼントします。詳しくは、市観光協会ウェブをご覧ください。

課 ☎ 21-9754 ☎ 23-9467 へ。
募集 **必要事項**・年齢・級位(市内在勤・在学の方は勤務先・在学先、市内の囲碁教室に通う方は教室名)を、往復はがきで、1月18日(土)～2月12日(水)に、〒254-0045 見附町31-10 まちづくり財団文化事業課 ☎ 32-2237 へ。同財団ウェブからも応募できます。

神奈川県バスを乗り継いで、平塚八景を巡りませんか。
1月16日(木)～2月28日(金)に、訪れた場所の数に応じて、記念品をプレゼントします。詳しくは、市観光協会ウェブをご覧ください。

平塚八景の各所(5カ所または8カ所)で撮影した応募者が写った写真を、直接、1月16日～2月28日に、紅谷町18-8 市観光協会 ☎ 20-5110 へ。

不登校・ひきこもりを改善しませんか
図書館ボランティア体験を通して自立を支援します。
2月7日(金)午後1時30分～4時。中央図書館(浅間、



神奈川県バスを乗り継いで、平塚八景を巡りませんか。
1月16日(木)～2月28日(金)に、訪れた場所の数に応じて、記念品をプレゼントします。詳しくは、市観光協会ウェブをご覧ください。

平塚八景の各所(5カ所または8カ所)で撮影した応募者が写った写真を、直接、1月16日～2月28日に、紅谷町18-8 市観光協会 ☎ 20-5110 へ。

不登校・ひきこもりを改善しませんか
図書館ボランティア体験を通して自立を支援します。
2月7日(金)午後1時30分～4時。中央図書館(浅間、

ひらつか市展に 作品を出しませんか

3月2日(日)～16日(日)に美術館(西八幡1-3-3)で展示します(写真)。自作の未発表作品に限ります。中学生を除く15歳以上の方。①書道②絵画・彫刻③写真の3部門で、1点(③は2点)につき3,000円、高校生や大学・専門学生は1,000円。1点増すごとに1,000円。詳しくは、市ウェブや美術館・各公民館・本館7階の社会教育課にある募集要項・応募規定をご覧ください。

☎ 作品を、直接、2月23日(祝)午前10時(①は10時30分)～正午に、美術館へ。問い合わせは**社会教育課**☎35-8123へ。



ごみなどの処理手数料が変わります

4月1日(火)から、粗大ごみなどの家庭から排出されるごみや事業系一般廃棄物・し尿・動物の死体・産業廃棄物などの処理手数料を改定します。詳しくは、市ウェブをご覧ください。右の2次元コードからもアクセスできます。



㊟ 環境政策課 ☎21-9762

湘南ベルマーレ健康教室

ひらしん平塚文化芸術ホール(見附町16-1)。先着順。室内用運動靴・タオル・飲み物

◀町12-41)。不登校・ひきこもりの方ら8人(先着順・小学生は保護者同伴)。
☎氏名・年齢・電話番号またはメールアドレスを、電話・メールで、**ぜんしん**☎23-1177㊟ryoz@lifestyle-cps.sakura.ne.jp。

自分に合った仕事を見つけませんか

火曜日。勤労会館(追分1-24)。15～49歳の仕事を探している方、各4人(先着順)。
興味検査 2月4日午前10時30分～正午。2色以上のボールペン。定規。
適性検査 2月18日午前10時～11時。
☎ 電話で、**県西部地域若者**

①はヨガマットまたはバスタオルも)。各教室1500円。運動ができる服装でお願いします。
②**ヨガ教室** 3月14日(金)午後6時30分～8時。40人。
③**親子運動教室** 3月15日(土)午前10時30分～正午。3歳～小学校2年生の子どもと保護者20組(2人1組)。
④**カラダの不調を整える肩こり・腰痛教室** 3月15日午後3時～4時30分。18歳以上の方30人。
☎ 電話で、1月19日(日)午前10時から、**ひらしん平塚文化芸術ホール**☎20-9273へ。同ホールウェブからも応募できます。

八幡山の洋館 音楽のおくりものの出演者

5月24日(土)・25日(日)、午前10時～午後6時。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。各日12組(抽選、30分間を8組・60分間を4組)。応募条件など、詳しくは市ウェブや旧横浜ゴム平塚製造所記念館にある募集要項と応募用紙をご覧ください。

☎ 応募用紙を、郵送・ファクス・メールまたは直接、1月18日(土)～2月8日(土)に、〒254-0041浅間町1-1旧**横浜ゴム平塚製造所記念館**☎35-7114㊟hachimanyamanoyokan@ma.san-net.ne.jp。

身近な防災1・2・3
潮風感じる須賀めぐり
馬入や須賀地区にある防災にまつわる場所を、ガイドと巡ります。匠の店などにも立ち寄ります。
2月15日(土)午前9時～正午。雨天中止。馬入ふれあい

公園(中堂24-1)集合・長楽寺(礼場町15-42)解散。市内在住・在勤・在学の方20人(先着順)。1000円。
☎ **市観光協会**☎20-5110ウェブで、1月17日(金)午前10時から、応募してください。
馬入水辺の楽校 秘密基地づくり
竹を切って小屋を作ります。1月25日(土)午前9時～午後2時。雨天中止。相模川河

お知らせ

償却資産の申告は1月31日(金)まで

1月1日現在、事業用資産がある方は、本館2階の固定資産税課に申告してください。地方税ポータルシステム(eLTAX)や郵送でも申告できます。対象となる資産など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

☎ **固定資産税課**☎20-8855

ちゅうおうFESTA

1月25日(土)・26日(日)、午前10時～午後4時。中央公民館(追分1-20)。
キーホルダー作り講座 25日午前10時～正午。100人(当日先着順)。500円。
☎ **中央公民館**☎34-2111

八幡山の洋館 遊館日

2月19日(水)。各回1時間。旧横浜ゴム平塚製造所記念館(浅間町1-1)。各回60人(当日先着順)。
春色コンサート フルート・クラリネット・ピアノの演奏

川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。小学生以上の方10人(抽選・小学生は保護者同伴)。帽子・軍手・タオル・弁当・飲み物・筆記用具。1000円、小・中学生600円。
☎ 代表者の**必要事項**・全員の氏名と年齢を、はがき・メールで、1月18日(土)～22日(水)に、〒257-0007秦野市鶴巻156**湘南いきもの楽校の露木**☎77-0265㊟masami2025@yahoo.co.jp。

です。午前11時開演。
春をよぶスカーフアレンジ
スカーフ・ストールの活用術の話やウクレレの演奏です。午後2時開演。
☎ **旧横浜ゴム平塚製造所記念館**☎35-7114

フォークダンス初心者講習会

2月12日、3月12日・26日の水曜日、午後1時30分～3時30分。崇善公民館(見附町1-8)。18歳以上の方、各日30人(当日先着順)。飲み物・運動靴。運動ができる服装でお越しください。
☎ **市フォークダンス協会の鈴木**☎090-1140115299

こども映画会

『スライミー』他4話を上映します。
2月9日(日)午前10時～11時。中央図書館浅間町12-41。70人(当日先着順・未就学児は保護者同伴・当日午前9時からこども室で整理券を配布)。
☎ **中央図書館**☎31-0415

2月1日(土)・2日(日)は 競輪場でのイベントを楽しもう!

午前10時～午後4時。ABEMA湘南バンク(久須堤5-1)。詳しくは、平塚競輪場ウェブをご覧ください。

SDGsワークショップ

各ワークショップ各日50人(当日先着順)。

- ①じぶんだけのサッカーボールをつくろう!
- ②恐竜の亚克力スタンドをつくろう!
- ③色を塗ってトゥクトゥクをつくろう!
- ④ライスブロックで絶滅危惧種の動物をつくろう!

湘南ベルマーレサッカー体験会

キックターゲットやキックゴルフができます。湘南ベルマーレのOB選手や現役フットサル選手も登場予定です。

㊟ **事業課**☎21-3935



くるりんまつりに 行きませんか



ごみ減量キャラクターのクルクル

フォークリフトの展示(写真)や、市内で回収した牛乳パックが原料のトイレトペーパー販売などがあります。

2月1日(土)午前9時～正午。小雨決行。リサイクルプラザ(四之宮7-3-5)。

㊟ **リサイクルプラザ**☎51-5301

健康と福祉

応募方法は
4面

地域の見守り活動の協定 締結事業者を募集

地域の高齢者らを、さりげなく見守る市内の事業者を募集しています。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

☎市ウェブにある申込書を、電話連絡の上、郵送・メールで、高齡福祉課 ☎21-9622 (kourei@h.)

歯科医から聞く 健康の秘訣

2月27日(木)午前10時～11時30分。保健センター(東豊田448-3)。市内在住・在勤の方20人(先着順)。

☎電話または直接、健康課 ☎55-2111へ。

終活講座 もしバナゲーム&エンディングノート

自分の「もしも」の時を考えるカードゲーム体験や、エンディングノートの説明などをします。

1月31日(金)午前10時～11時30分。南部福祉会館(袖ヶ

浜20-1)。市内在住で60歳以上の方20人(先着順)。

☎電話または直接、1月18日(土)午前9時から、南部福祉会館 ☎21-3370へ。

健康ウォーキング

「湘南海岸公園から公園めぐり」コースです。

2月11日(祝)午前9時20分～午後0時10分。約6.7km。当日午前7時のNHKの天気予報で、横浜の午前の降水確率が50%以上の場合は12日(水)に延期。12日も同様の場合は中止。湘南海岸公園(高浜台34-1)集合・解散。市内在住・在勤の方。タオル・帽子・飲み物・雨具、お持ちの方は歩数計・健康サポート手帳。

☎健康課 ☎55-2111

家族介護リフレッシュ

市内在住で家族の介護をしている方。抽選。

①1月27日(月)午前9時30分～午後0時30分。福祉会館(追分1-43)。12人②27日1

犯罪被害に遭った方への 新たな支援を開始します

2月1日(土)から、犯罪被害に遭った方の遺族や重傷病を負った方・性被害を受けた方へ、支援金や家事サービス費用の助成などの新たな支援を始めます。

各種支援を受けるには、警察に被害届を提出しているなどの要件があります。支援内容など、詳しくは市ウェブをご覧ください。右の2次元コードからもアクセスできます。

☎人権・男女共同参画課 ☎21-9861
市民情報・相談課 ☎21-8764



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
「ギョッとちゃん」



町内福祉村パネル展

2月5日(水)～11日(祝)、午前10時～午後8時(土曜日は9時まで)。ららぽーと湘南平塚(天沼10-1)。

☎福祉総務課 ☎21-9848

スキマ時間でちょいトレ 始めませんか

運動不足を感じている方らに向けて、手軽にできる運動などを紹介します。

市内在住・在勤で、医師から運動を制限されていない20～64歳の、①はZoomで受講できる方②は女性。先着順。

①オンライン講座 腰痛予防編 2月20日(木)午後7時～8時。60人。

②女性向け教室 3月5日(水)午前10時～11時30分。保健センター(東豊田448-3)。30人。筆記用具・飲み物・タオル。動きやすい服装と靴で

子どもの健康 2月

保健センター(東豊田448-3)。母子健康手帳をお持ちください。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

☎健康課 ☎55-2111

- ◆母親父親教室(予約制)★快適マタニティライフ編 9日(日)午前10時30分～午後1時30分。妊娠中の方とパートナー20組(先着順)。歯ブラシ。500円。動きやすい服装でお越しください。
- ★赤ちゃん誕生準備編 28日(金)午後1時30分～3時30分。妊娠8カ月以降の方とパートナー24組(先着順)。市ウェブで申し込んでください。
- ◆歯科健康診査(予約制) 5日(水)

- 午後1時～2時30分、20日(木)午前9時～10時30分。2歳1カ月児～2歳6カ月児。
- ◆乳児の個別健康診査 4カ月児・8～10カ月児。医療機関へ直接申し込んでください。医療機関の一覧表は、市ウェブや保健センターにあります。
- ◆7カ月児(令和6年7月生まれ)相談(予約制) 4日・18日の火曜日、午前9時～10時。
- ◆離乳食・幼児食教室(予約制) 成長に合わせたコースです。100円。
- ★5・6カ月児 3日(月)午後1時30分～2時30分。20組。
- ★7・8カ月児 12日(水)午後1時

- 30分～2時30分。20組。
- ★9カ月児～1歳6カ月児 19日(水)午前10時30分～11時45分。15組。
- ◆産後ルーム ママはぐ(予約制) 21日(金)午前10時～午後1時。4カ月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方ら16組(初めての方を優先)。500円。
- ◆産後メンタルヘルス相談(予約制) 26日(水)午後。育児や生活の悩みなどがあり、主治医のいない方または家族3人(先着順)。
- ◆育児相談 5日・26日の水曜日、午前9時30分～10時30分。
- ◆歯っぴい はみがき教室(予約制) 歯の手入れ方法を学びます。
- ★準備期編 13日(木)午前10時～11時。8カ月児～1歳0カ月児。

基礎からの相続講座

2月15日(土)午前10時～正午。市民活動センター(見附町1-8)。市内在住・在勤・在学の方38人(先着順)。

☎講座名・氏名(ふりがな)・お越しください。

足裏健康エクササイズ

2月22日(土)午後1時30分～3時。福祉会館(追分1-43)。市内在住で福祉会館が発行する福寿カードをお持ちの方25人(抽選)。飲み物。400円。運動ができる服装でお

電話番号を、電話・メールで、市民情報・相談課 ☎20-5775 (housou@h.)

平塚市内で選べる6つの葬儀式場

神奈川・東京53の直営施設で年間7,500件のご葬儀をお手伝いするへいあんグループ

音楽葬・ギャラリー葬・偲ぶ会形式など「自由葬」の様々なプランもご提案

家族葬・火葬式・法事

駐車場完備

1日葬プラン
お通夜をしないお葬式

391,200円~
(税抜)
税込430,320円~ ※2025年1月時点

新設

ご安置専用個室貴賓室

ゆびき型葬儀ルーム

ワンフロア貸切型 ボンズ カルチャー BONDS 平塚 平塚市平塚5-23-12 毎日9～20時 館内自由見学

生前相談は24時間365日対応

本館・別館 貸切型
湘和会堂金目
平塚市片岡414-1
駐車場完備

ワンフロア貸切型
湘和会堂平塚
平塚市八千代町7-8
駐車場完備
家族葬式場 完備

本館・別館 貸切型
湘和会館田村
平塚市田村4-16-24
駐車場完備

貸切邸宅型
湘和礼殯館真土
平塚市東真土2-7-2
駐車場完備

本館・別館 貸切型
湘和会館追分
平塚市立野町41-12
駐車場完備

24時間365日対応
もしもの時のご依頼や
葬儀の疑問・お問合せは

コールセンター
☎0120-24-8130
通話無料

湘和葬祭
へいあんグループ

メールでの相談も
承っております
しょうわ 葬儀

令和7年度の広告を募集します

市の広報媒体に広告を掲載しませんか。市ウェブなどにある要綱・掲載基準をご確認の上、応募してください。

①広報ひらつか

発行部数は各号約11万5,000部で、市内の全戸にポスティングで配布しています。毎月第3金曜日号の4～7面などの下段に掲載(右図斜線部分)。各号8枠程度(抽選、掲載期間・掲載枠の多い事業者と市内事業者を優先)。料金は、令和7年4月第3金曜日号の掲載分から改定(右表・1掲載当たりの料金)。

1枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横59 ^{ミリメートル} 6万6,000円
2枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横118 ^{ミリメートル} 12万6,000円
3枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横178 ^{ミリメートル} 17万8,000円
4枠	縦96 ^{ミリメートル} ・横237 ^{ミリメートル} 22万4,000円

お知らせなど



②市ウェブサイト

トップページの下段に掲載(右図黄色部分)。同ページのアクセス数は月平均約12万件です。(令和6年1月～12月の件数で算出)。縦60ピクセル・横120ピクセルのGIFまたはJPEG形式のファイルで、容量は5^{キロバイト}以内。18枠(公共機関を優先するなどの条件があります)。月額は、1枠当たり3万円、継続6カ月以上で2万7,000円、継続1年間で2万4,000円。

市ウェブや本館4階の**広報課**☎21-8761㊟koho@にある申込書・広告のデザイン案を、郵送・メールまたは直接、①は2月14日(金)②は3月3日(月)までに、同課へ。

次回納期の市税・手数料

- 納期限 1月31日(金)
- ①国民健康保険税(第8期)
 - ②後期高齢者医療保険料(第7期)
 - ③介護保険料(第8期)
 - ④清掃し尿従量手数料(第10期)
- 間 ①保険年金課☎21-8775
②保険年金課☎21-9768
③介護保険課☎71-5238
④収集業務課☎21-8796

認知症サポーター養成講座

2月8日(土)午前10時～11時30分。大原公民館(大原1-15)。市内在住・在勤の方20人(先着順)。室内履き・筆記用具・飲み物・マスク。
電話で、高齢者よろず相談センターまづがお☎35-4465へ。

認知症予防教室

2月28日(金)午後1時30分～3時。大野公民館(東真土2-12-1)。市内在住・在勤の方20人(先着順)。

親族向けの成年後見制度セミナー

2月26日(水)午前10時～正午。平塚栗原ホーム(立野町31-20)。市内在住の方・制度を必要とする本人が市内在住の方の親族30人(先着順)。筆記用具。
電話で、または栗原ホーム☎24-8609へ。

介護事業所の就職説明会

介護事業所を運営する4法人が説明します。
2月20日(木)午後1時30分～4時。勤労会館(追分1-24)。30人(先着順)。
電話で、ハローワーク平塚☎24-8609へ。

初心者向け手話講習会

2月25日～3月25日の火曜日、全5回、午前10時～正午。福祉会館(追分1-43)。市内在住・在勤・在学で4回以上参加でき、初めて手話を学ぶ小学校3年生以上の方20人(先着順)。筆記用具・マスク。
電話または直接、福祉会館☎33-0007へ。

趣味の作品展

ゆめクラブ湘南平塚の会員による絵画や書道、写真などを展示します(右下写真)。
1月23日(木)～27日(月)、1月24日(金)～26日(日)、午前10時～午後5時(26日は3時まで)。ラスカ平塚(宝町1-1)。
湘南蘭友会の仲間☎55-7722
ウィンターコンサート
1月26日(日)午後2時～4時

お知らせ掲示板

洋蘭展

1月24日(金)～26日(日)、午前10時～午後5時(26日は3時まで)。ラスカ平塚(宝町1-1)。
湘南蘭友会の仲間☎55-7722
ウィンターコンサート
1月26日(日)午後2時～4時



家族介護教室

3月4日(火)午後1時30分～3時。特別養護老人ホームふじの郷(大島190)。福祉・介護事業者を除く、市内在住・在勤で要介護者を介護している方・市内在住の要介護高齢者を介護している家族ら15人(先着順・4人に満たない場合は中止)。
電話で、1月20日(月)から、午前9時～午後6時に、特別養護老人ホームふじの郷☎26-3130へ。

広告

湘南ひらつか 朝市 ふれあいマーケット

湘南ひらつか名産品や新鮮な野菜・干物・花(写真)の他、今月は総菜などが入った福袋も販売します。

1月26日(日)午前7時～8時。平果地方卸売市場(四之宮1-7-1)。

産業振興課☎21-9758



庭のお困り事ありませんか?

安価に貢献 見積無料

- お庭のことならどんな事でも
- 植木剪定・伐採・消毒・移植・処分
- 芝刈・草刈・各種垣根・雑草防止用砂利
- 庭石・庭木・草花・芝・黒土販売
- ブロック・土間打外構工事
- 一坪から丁寧な仕事です

株式会社 愛緑苑 平塚市 吉原2-1
☎0463-55-3952 神奈川県知事許可 一級造園技能士
☎090-9100-2344 一級造園施工管理技士

ご葬儀は **サン・ライフ**

ご相談・施設見学はいつでも承っております

わからないこと すぐに聞ける

24時間365日対応

相談スタッフ

コールセンター

☎0120-41-3140

※1当社ご葬儀アンケートの総合評価で「良い」「やや良い」と答えた方の割合 ※2冠婚葬祭互助会業界

ご相談お受けします

福祉用具レンタル

福祉用具販売

人と心を大切にする

株式会社フロンティア

平塚営業所 ■住所:平塚市めぐみが丘2-5-3 ■TEL:0463-56-0320



新春を迎えて

1月1日の平塚海岸。平塚沖総合実験タワー越しの澄んだ空に、くっきりと初日の出が見られました。今年が素晴らしい1年になりますように。



ベルの音に癒やされて

令和6年12月18日、旧横浜ゴム平塚製造所記念館でミュージックベルのコンサートがありました。ベルとピアノが奏でる美しい音色に、来場者は目を閉じて耳を澄ませたり、体を横に揺らしたり。会場は温かな雰囲気に包まれていました。



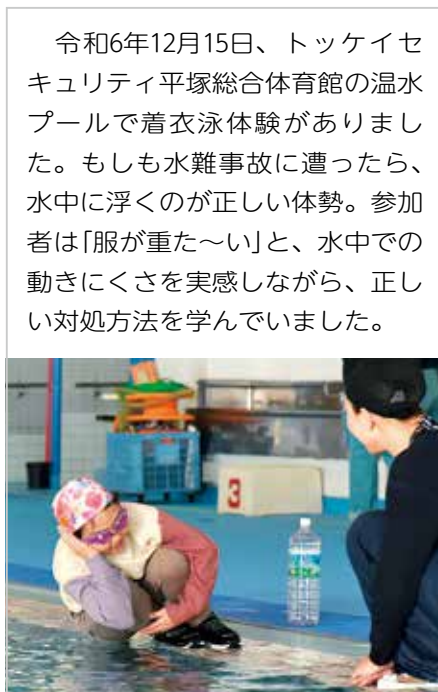
環境に優しい光を作ろう

令和6年12月22日、中央公民館で子ども環境教室「エコキャンドル作り」がありました。使用済みの食用油を熱して作ったろうは、削ったクレヨンで色付け。参加者は保護者のサポートの下、家から持ってきた空き瓶に、真剣な表情でろうを注いでいました。



丁寧に黙々と

令和6年12月25日～27日、「冬休み中学生・高校生の図書館ボランティア」がありました。25日は初参加だという3人が出席。あっという間に仕事を覚え、返却された本を本棚に戻したり(左写真)、返却ポストから本を回収したり、黙々と仕事に取り組んでいました。



令和6年12月15日、トッケイセキュリティ平塚総合体育館の温水プールで着衣泳体験がありました。もしも水難事故に遭ったら、水中に浮くのが正しい体勢。参加者は「服が重たい」と、水中での動きにくさを実感しながら、正しい対処方法を学んでいました。



もしものときは「浮く」



みんなのあったか

令和6年12月27日まで、本館1階多目的スペースで、「あったかひらつか川柳大賞」の展示がありました。並んだのは、巧みな切り口で書かれ、個性の光る全68の応募作品。心が温まり、平塚の良さを再発見できる各作品は、市民活動センターのウェブで見られます。



さて、本市における出火原因は、充電式の電気製品や料理中のこんろからの出火、たばこの不始末が上位です。12月頃から増え始め、2月が最も多くなります。近年は特にモバイルバッテリーからの出火が増加しています。消防は、私たちが生活する上での安心・安全に欠かせません。本市では、市民の生命と財産を守るため、最新の機器を導入するなどし、消防力を強化しています。市民の皆さまには、本年度の防火標語「守りたい 未来があるから 火の用心」を合言葉に、火の取り扱いには十分な注意をお願いします。

古式消防は、江戸時代から明治時代にかけて続いた、日本の伝統的な消防活動です。地域ごとに組織された町火消を中心に、火災の延焼防止にあたりました。住民がまちを守るために連携・協力する姿勢は、現代の共助の精神につながっています。

1月11日、新春の恒例行事として親しまれている、平塚市消防出初め式を開きました。消防関係者の献身的な活動に感謝を表すとともに、防火意識を高める大切な機会です。式典に続いて開かれた演技の部では、少年消防クラブの皆さんが訓練の成果を披露。元気あふれる活動を見て、大変頼もしく思いました。また、平塚古式消防保存会による「木遣り」や「はしご乗り」(写真)などが披露されました。勇ましい半纏姿で練り上げられる熟練した技が、会場を魅了しました。

火の用心



市長コラム

落合克宏

